

## 県内の死亡事故の特徴

### 1 死者の約6割が高齢者

年代別では、65歳以上の高齢者が53人中32人（60.4%）で、約6割を占める。

### 2 歩行中等の死者は横断中が多い

- 状態別では、歩行中や一輪車を押していた死者が53人中22人（41.5%）で、うち20人は横断中であった。
- 横断中死者20人のうち18人は、車から見て右から左への横断であった。
- 横断事故20件のうち18件は夜間事故で、いずれも車のライトは下向きであった。また被害者はいずれも反射材を活用していなかった。

### 3 自転車事故が多い

- 状態別では、自転車乗用中死者が53人中11人（20.8%）で、うち5人は単独事故であった。
- 自転車事故11件のうち7件が夜間事故である。

### 4 夜間事故が増加

前年同期46件中20件だった夜間の死亡事故が、53件中29件（54.7%）と増加している。

### 5 単独事故が多い

単独事故が53件中16件（30.2%）と多い。